

はじめに

2003年3月16～23日にわたって琵琶湖・淀川流域をむすんだ京都・滋賀・大阪において第3回世界水フォーラムが開催され、これに先立つ3月13～15日、京都で第1回アジア太平洋水文水資源国際会議（APHW2003）が開催された。NILIM特別セッションはこの中で、国土交通省国土技術政策総合研究所（National Institute for Land and Infrastructure Management, NILIM）が11名の専門家をアジア各国から招聘して開催したものである。

NILIMセッションは「歴史から見た今日の水管理問題」と題し、各地域における水管理の歴史と課題について招聘した専門家及び日本から計11カ国、12名による発表が行われ、各国の教訓を共有するとともに、セッションの結果、参加者の間で引き続き積極的な情報交換を進めていくことが合意された。セッションはアジア各国の水管理に直接携わる専門家が一堂に会して情報交換する機会であったことから、APHW2003参加者の間でも関心が非常に高く、セッション当日は当初予定していた会場が満員であったため、APHW2003事務局の計らいでセッション途中から急遽、大会場に変更して開催した。

本報告書は、この貴重な体験を記録に残して今後の参考にするため、セッション事務局を努めた河川研究部が国土技術政策総合研究所を代表してとりまとめたものである。報告書では各国からの報告を簡潔にとりまとめた後、各国の報告とセッション参加者の間で取り交わされた合意メモを収録している。また、セッション当日の状況を伝えるため、付録としてセッション参加者のプレゼンテーション資料と会場風景の写真を収録した。NILIM特別セッションがアジア太平洋地域の専門家の緊密な連携を通じた、各地の水問題解決の第一歩となることを希望する。

なおNILIM特別セッション開催にあたって、文部科学省科学技術振興調整費「我が国の国際的リーダーシップの確保」プログラムの「水災害の監視・予測・軽減への貢献」（代表：寶馨京都大学防災研究所教授）を充当しており、記して関係者に謝意を表する次第である。

2004年1月 国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部長
中村 昭

